平成３０年度「蔵の街を活かしたまちづくり研究事業」実施要項

１．目的

平成２９年度に実施の「蔵の街を活かしたまちづくりワークショップ事業」において提案された栃木市蔵の街の課題に対する解決策を活かし、実現していくために調査研究及び実践していく研究会を組織して、蔵の街を活かしたまちづくりの推進を図ることを目的とする。

２．主催・運営

・主催：栃木市
・委託先：蔵の街を活かしたまちづくり研究会

３．研究会の構成者

・蔵の街に関わる団体等からの選出者
・研究分野関係者
・一般公募者
・宇都宮大学学生　　など

４．平成３０年度事業

（１）内容

「蔵の街を活かしたまちづくりワークショップ事業」において提案された『タイムトラベル蔵の街』を参考に、江戸末期～明治、大正、昭和初期～中期の時代ごとに、『蔵の街とちぎ』をＰＲできるような写真撮影スポットを調査研究し、実際にその時代に合った衣装を身に着けて撮った写真を市ホームページに掲載する。

（２）実施期間

８月～１２月の期間を想定しているが、実施する期間・期日等は参加者と相談のうえ、設定していくこととする。（実施期日は、７日程度を想定している）

・研究会の発足（８月）
・撮影場所の調査、研究（９月～１０月中旬）
・撮影場所の決定及び撮影の段取り（１０月下旬～１１月）
・撮影の実施（１２月）

※１月２６日（土）に会員に対して市ホームページに掲載する写真の報告会を行うとともに、「蔵の街を活かしたまちづくり」に関する勉強会を実施する予定。

５．成果発表

市広報担当課と連携を図りながら、市ホームページに掲載する。

６．その他

・全体会議の際には、宇都宮大学 陣内教授にオブザーバーとして参加していただく。